

＜長野県馬術連盟 選手育成と県有馬活用ポリシー＞

1. 基本方針

- (1) 2028年 信州やまなみ国スポ(第82回国民スポーツ大会)に向けて、広く選手を発掘し、計画的に育成を図り、北信越ブロック大会・本大会での好成績を目指す。
- (2) これまでの選手強化策(競技会参加による実戦力向上、強化練習による基礎強化)に加え、県の支援を受けてレベルの高い馬を新たに購入して一層の強化を図る。
- (3) 不透明な選手優遇を防ぎ、県選手団の総合力を高めるべく優秀馬の発掘と維持管理に務める。

2. 内容

(1) 優秀馬な推薦馬の発掘・選定及び管理

- ① 新たに購入する馬は、2028年大会の競技馬とする。県馬連で作成する購入計画に基づき、競技経験が豊富な選手※1が候補馬を探し、新たに検討委員会※2を設置して理事会へ推薦馬を選定・提案する。
- ② 購入馬の管理・トレーニングは、適切な担当者を選定して任せる。競技力や馬のトレーニング経験が浅い担当者に任せる場合は、経験豊富な選手等※1が指導監督する。担当者及び指導監督者は、検討委員会※2で決定する。
- ③ 担当者は、自馬と変わらない愛情をもって馬を管理する責任を持ち、担当者の責任によるケガ等の治療費は担当者が負担するべきと考えるが、やむを得ないケガなどの場合は、県馬連と協議して判断する。
- ④ 購入馬の繋畜・管理費用の負担や支出方法は、県と協議が必要だが、「担当者が必要な費用を全額負担し、繋畜費・管理費相当額を担当者へ補助する」ことで責任を持った管理になると考える。
- ⑤ 担当者が県有馬を他者にリース・レンタル(騎乗料の性質の金銭要求)することは禁止する。県馬連で認めた選手が競技に出場するための必要費用については請求出来る。
- ⑥ 検討委員会※2は、馬の管理やトレーニング状況について6ヵ月に1回以上検討し、馬の適正な管理と効果的な強化が図られるよう担当者に改善を指示出来る。改善が図られない場合は、担当者の変更を決定する。

※1 全日本 Part1、Part2、本国体以上のレベルの大会で活躍している。

※2 県馬連理事、強化委員長、選手他の6名程度で構成する。

(2) 県有馬への騎乗者

- ① 強化指定選手の中での希望者を優先して選定する。複数の候補者があり馬の負担が心配される場合は、騎乗技術やサポート体制を考慮し、強化委員会で候補者を選定し、県馬連理事会で決定する。
- ② 騎乗者の選定に余裕がある場合は、強化指定以外の成年・少年選手を育成選手として選定出来るが、騎乗者選考会を実施するなど、公正に選定する。
- ③ 選手は、自馬と変わらない愛情をもって馬を扱い、自身の責任によるケガ等の治療費は、騎乗者が負担するべきと考える。やむを得ない怪我等の場合は、県馬連と協議して判断する。
- ④ 騎乗者は事故や怪我に備えた保険に必ず加入する。
- ⑤ 競技会等への参加費用や指導者の謝金は選手が負担し、強化費の範囲で補助する。
- ⑥ 強化委員会は、選定した選手の練習状況等を6ヵ月に1回以上把握検討し、効果的な強化が図られるよう騎乗者に指導し、問題が改善されない場合は、騎乗者の変更を決定する。